



## 麻薬宗教

恐ろしい麻薬が、毎日のように大量に日本の国に持ち込まれていると

いいます。

厳重に見張つているのですが、そ

の見張りの網をくぐつて麻薬が持ち

込まれていると聞きます。なぜでしょか。

麻薬を売つてお金をもうけている人たちが多い

というのも一つの理由でしょう。だが、いちばん

の原因は、麻薬をさがし求めて買う人が沢山いる

ということです。

生活の苦しさをひととき忘れるために麻薬を使

います。けだるくて、らちのあかない、いじいじ

したくしから一時のがれるために麻薬を求める

のです。

そしてそれを一度使いはじめると、もうその麻

薬から抜け出られなくなつてしまします。麻薬が

麻薬をよんで、一日もひとときも麻薬なしではく

らせなくなるのです。

こんな恐ろしいものが麻薬です。

世の中には、もう一つ「宗教」と称している麻薬があります。

苦しみからの一時のがれのために、不安や悲しさのひとときの慰めのために、危機の状態から自分

の権威をもるため。そのとにかく一時の慰め

一時の麻薬効果をうるために、神や仏を（イワシ

の頭でもいいのですが）信仰したり祈つたりして

いる人が沢山います。

そういう宗教を「阿片」だといつた人がいると

「阿片」がはん濫しております。

このほんとの原因を追及する努力を放棄されバラ色の想め。一時の安心のなかに人を麻ひさせてしまふ恐ろしい麻薬宗教がいま日本にはマンエンしてあります。おふだ・ごきとう・〇〇祈願 ××供養

人を一時のがれの安心のなかに眠らせてしまふこうした麻薬宗教がはいつてくるのを、いつたい

どこでどう防げばよいのでしょうか。

それは正しい宗教一人を眠らせるのではなく、目覚めさせる宗教、目を開かせてくれる宗教による以外はないのではないかでしょうか。

## ひょうたんの話

昔、中国での話です。

魏という国の王様が、梁という國の大

臣に、「おまえにこれをあげよう」といつて

ヒヨウタンの種子（タ不）をくれました。

「これはいいものをもらつた。お酒を入れて楽しもう」

大変よろこんだ大臣は、さつそくヒヨウ

タンの種子を播（ま）き大切に育てたのです。

ところがこれは何と、大きな大きなおおビ

ヨウタンができました。

大臣の身の丈の倍くらいなおおヒヨウ

タンです。

「これはとても酒のいれものにはならない。

あの王様は何でこのようなものをくれたのか。」

と腹をたてて、このおおヒヨウタンを割つてしましました。

莊子という人がこの話を聞いて笑つて申しました。

「なんと愚かなことか。ヒヨウタンは酒をいれるもの」という小さな考えにこり固まつて、せつかくのおおヒヨウタンの有難さがわからぬいとは」

「魏の王様は、このおおヒヨウタンを舟にして、洪水のときこれで救われなさい」とプレゼントしてくれたのに」

笑い話でしようか。

## 病むときは

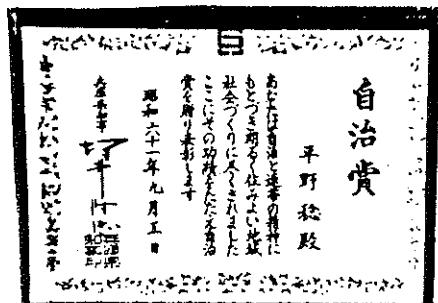
病むがよろしく候

良寛

## 平野仏社会長自治賞を受賞

## 自治賞

平野 稔



ご苦労さま仏社会長

おめでとう平野さん

## あすき

味付のりの空瓶に小豆を入れ、その上にニンニクを二片入れておくと虫がつきにくく。

じやがいも  
ジャガイモを、なるべく新らしいうちに入れる袋に入れ、そのなかにリンゴを一箇入れて封をしておいてください。「芽が出ません」いつまで新鮮さを失いません。



## 報恩講

## もつたいない

毎年のことながら今年も報恩講もつたなくおつとめさせていたゞきました。「寺報」でちよつとお願ひしただけなのに三十人も遠近各部落から参集。あつとい間に仏具のおみがき、お華足もりを仕上げていたゞきました。立華には龜井中島・中川の諸氏がかかつて下さいました。住職はご門主様のご巡教随行で留守。報恩講の前日に帰宅しておおびつくり。ほんとに感謝のうちに報恩講おつとめさせました。あらためてご奉仕の方々へお礼を申し上げます。

## ほぞんほう保存法